

令和4年度 第1回 嘉麻市総合教育会議 会議録

■日 時 令和4年6月2日（木） 午前11時00分

■場 所 嘉麻市役所 本庁舎5階 5A会議室

■ 公開又は非公開の別 一部 非公開

■ 非公開の理由 資料及び説明に学校名が記載されているため

■出席者等

・出席者

市 長 赤間 幸弘 教育長職務代理人 豊福 眸子 教育委員 佐竹 正利

副市長 山田 卓嗣 教育委員 辻田 喜美

教育長 木本 寛昭

・欠席者

教育委員 犬丸 隆行

[企画財政課]

課 長 大村 輝生 課長補佐 宮田 恭子 係 長 穴見 琴枝

主 査 塩塚 律子

[教育委員会]

教育総務課長 赤坂 晋 学校教育課長 芳野 浩司 学校施設課長 原岡 隆徳

教育委員会付参事 橋垣 康秀 生涯学習課長 末永 康洋 スポーツ推進課長 長岡 和広

学校教育課長補佐 大木 秀一 学校教育課長補佐 石坂 良子

■ 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） なし

■ 議題及び審議の主な内容

1. 開 会

2. 議 事

【報 告】

(1) 令和3年度嘉麻市立中学校卒業生の進路結果について（資料1） 説明：学校教育課長

令和3年度の進学率は前年度に比べ0.2%上昇している。進学状況については、私立高校への進学が増加傾向にある。ここ数年、私立高校の就学支援制度が大きく変更されたこと、また、特色ある学校経営により、自分の進路に合う学科コースが選択できることから、私立高校に進学していると分析している。

《主な質疑、意見等及び応答》

・公立高校の進学率の低下は、本市だけなのか。県、全国的なものか？

(応答) 県立高校については、定員割れの状況があり、本年度は12学区の公立高校が募集人数を削減している。公立ではなく、私立を選択する状況は、本市だけでなく、筑豊地区、県全体と言える。

(2) 標準学力調査（令和3年12月実施分）の結果について（資料2） 説明：学校教育課長
昨年までNRT学力調査を実施していたが、今年度より標準学力調査に変更。

（変更理由）

- ・NRT調査は、基礎基本を習得するための調査であり、基本的にすべて選択式の問題だったが、全国調査においては、表現力、特に記述式の問題に答える力が求められるため、それに準拠した標準学力調査に変更。
- ・NRT調査は2月末に実施されており、結果は年度をまたぐため、子ども達の課題が十分に解決されないまま、次学年になっていた。標準学力調査は12月に実施し、1月には結果が出るため、課題を受け止め、補充等が可能になることから標準学力調査に変更。

《主な質疑、意見等及び応答》

- ・若年教師の増加により、生徒指導に対する力が低下しているのではないか不安である。
教師が個々バラバラな生徒指導をするのではなく、学校の実態に応じて、学校長が中心となり一体化した生徒指導力をつけることが必要。現在、一体化した学校はあるのか。

（応答） ある。すべての教科において、最低限の目当てを設定し、きめ細やかな授業を行っている。また、校長、教頭、主幹教諭が常時教室を訪問し、若年教師に指導助言することを学校のグランドデザインとしている。教師の意識が同じ方向に向くことで、生徒自身の学びも伸びてきている。

なお、校内研修には、他の学校の教諭も参加しており、それぞれの学校で同様の取り組みを開始している。

- ・基礎が大切な小学校では、モデル（参考）になる学校あるのか。

（応答） ある。若年教師がクラス担任をしている学年では、同学年の教師がお互いの授業をいつでも見学できる体制をとっている。若年教師は、身近に目標とする教師がいることで、高い意識を持ち、日々授業改善に取り組んでいる。実際に生徒の学力としても成果がでてきている。

(3) 令和3年度生徒指導上の諸問題に関する実態調査について（資料3） 説明：学校教育課長

《主な質疑、意見等及び応答》

- ・学校、子育て支援課との連携の中で諸問題の対応が進んでいるのか。

（応答） 対応としては、レストピアの存在が大きい。生活習慣の立て直しを行い、学習することで、自信につながり復帰できた事案もある。家庭環境の改善が必須になる家庭においては、学校が子育て支援課と連携し、ケースワーカーなどに関わってもらうことで復帰につながっている事案がある。

- ・SNSのいじめについては、長期で取り組む問題ではないのか。

（応答） 実態調査の結果、かなり危険な状況であったため、校長会の開催及び生徒指導教諭の会議を実施し、早急に対応を指導した。

- ・ヤングケアラーについて、把握できているのか。また、行政、福祉と連携はできていると思うが、現状はどうか。

(応答) 子育て支援課に確認したが、現時点での実態調査は行っていないとのこと。調査アンケート等の項目が、個人に立ち入る内容のため、項目設定が非常に困難。しかし、個別の案件に対しては具体的な支援を進めている。市としては、全体を把握しなければならないと思う。

(4) その他

【配布資料】

- ・令和3年度嘉麻市立中学校卒業生の進路結果について 【資料1】
- ・標準学力調査（令和3年12月実施分）の結果について 【資料2】
- ・令和3年度生徒指導上の諸問題に関する実態調査について 【資料3】